

幌・群別地区防災マップ (令和7年版)

凡例

- 津波浸水想定区域**
- 20.0m 以上
 - 10.0～20.0m 未満
 - 5.0～10.0m 未満
 - 3.0～5.0m 未満
 - 1.0～3.0m 未満
 - 0.5～1.0m 未満
 - 0.3～0.5m 未満
 - 0.3m 未満

- 洪水浸水想定区域**
- 10.0～20.0m 未満
 - 5.0～10.0m 未満
 - 3.0～5.0m 未満
 - 0.5～3.0m 未満
 - 0.5m 未満
- 中小河川 洪水浸水想定区域 (想定最大規模) を示す

- 土砂災害特別警戒区域・警戒区域**
- 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域

- 指定緊急避難場所**
- 指定緊急避難場所
 - 指定緊急避難場所・指定避難所
 - 地域で決めた一時避難場所
- 警察**
- 警察
 - 病院
 - 消防署・消防団
 - 公民館・研修センター
 - 福祉・児童館
 - 幼稚園・保育園
 - 文化・教育施設
 - 公園
 - 一般国道
 - 主要道路

避難所はどこ？

Where is the evacuation site?
避難所在哪里？
Где убежище?

① 両手を握って走る様子。



② 全指を曲げた右手を前に置く。



③ 右人差し指を立てて左右に振る。



幌

群別

※土砂災害の範囲は、北海道が指定した土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域、土砂災害危険箇所を加工して作図したものです。

※津波の範囲は、平成29年2月9日に北海道が設定した日本海沿岸の津波浸水想定を加工して作図したものです。

※このエリアは、北海道公表の津波浸水想定区域を踏まえて、隣接エリアと概ね同様の浸水が想定される区域として、石狩市が独自に設定したエリアを示します。

※幌川の洪水の範囲は、平成30年12月に北海道から提供のあった、幌川水系幌川洪水氾濫危険区域を加工して作図したもので、河川断面など詳細な調査をしていない簡便な手法で、浸水範囲を概略で示しています。

※群別川の洪水の範囲は、平成30年12月に北海道から提供のあった、群別川水系群別川洪水氾濫危険区域を加工して作図したもので、河川断面など詳細な調査をしていない簡便な手法で、浸水範囲を概略で示しています。



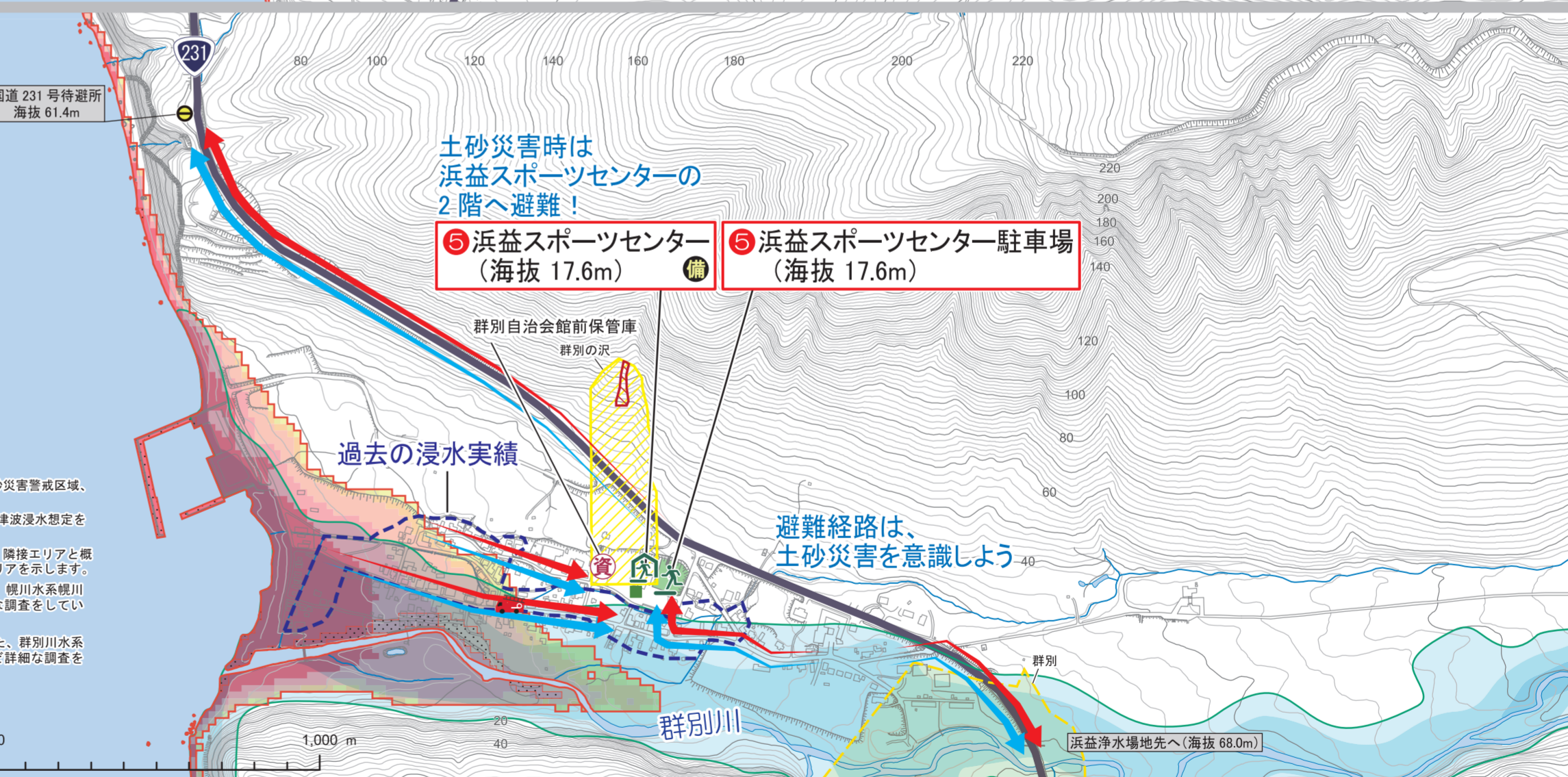
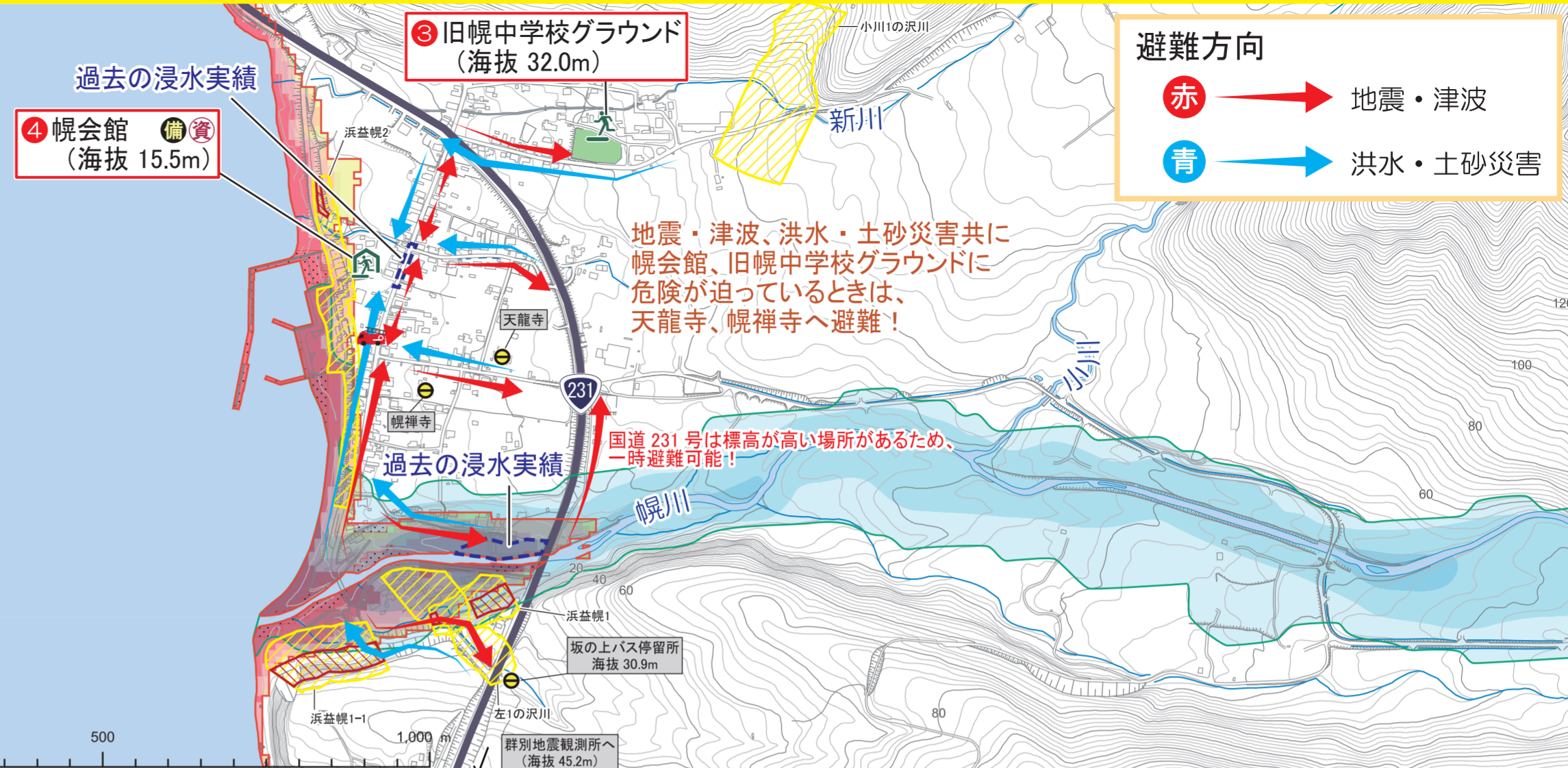
指定緊急避難場所	災害の種類							住所	電話番号
	地震	津波	高潮	洪水	まちの浸水	土砂災害	大火事		
③ 旧幌中学校グラウンド	○	○	○	○	○	○	×	幌 161-1	-
④ 幌会館	×	○	○	○	○	○	×	幌 21-2	79-2238
⑤ 浜益スポーツセンター	△	○	○	○	○	▲	×	群別 1-41	79-3615
⑤ 浜益スポーツセンター駐車場	○	○	○	○	○	×	×		

家族の連絡先				家族のルール	
家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	家族の避難先等について記入しよう	
大・昭平・令	年 月 日	A・B O・AB		.	
大・昭平・令	年 月 日	A・B O・AB		.	
大・昭平・令	年 月 日	A・B O・AB		.	
大・昭平・令	年 月 日	A・B O・AB		.	
大・昭平・令	年 月 日	A・B O・AB		.	

緊急連絡先	
市役所	浜益支所地域振興課管理担当 電話番号: 79-2111
かかりつけの病院	病院名: 電話番号:
近所の総合病院	病院名: 電話番号:
	(自由記入欄)
	(自由記入欄)

※まちの浸水とは、降雨量が小河川や下水道等の流れる能力を超えた場合に、建物や道路が浸水することを指します。※表中の記号は、○: 現象に対応できるもの ×: 現象に対応できないもの △: 施設の安全が確認された後に使用する施設であり、耐震条件を満たしたもの ▲: 2階以上の避難について現象に対応できるものを表しています。

この防災マップは、皆さまの声をまとめたものです。



谷折りで「防災の心得」へ

幌・群別地区の『防災の心得』

※この「防災の心得」は、皆さまの声をまとめたものです。

平常時

1 持ち出し品と
備蓄の用意！

個人で、持ち出し品の準備や備蓄をしよう。冬季の寒さ対策も忘れ
ないようしよう。

4 要配慮者の把握！

普段の生活の中から、自治会や隣
近所などが中心となって要配慮
者の把握を行おう。

7 情報収集手段の
確認！

災害時の情報収集手段を事前に
確認し、情報を周囲に伝えられる
ようにしよう。

2 自身で確認！

家族の間で、連絡方法、避難経路、
集合場所、標高の確認をしておこ
う。

5 自動車避難のルール
をつくらう！

避難所まで距離がある地区は、自
動車で避難するための地区の
ルールをつくらう。

3 みんなで確認！

隣近所の高齢者などに避難場所
や経路を繰り返し伝えよう。

6 防災訓練で備える！

想定にとらわれないことな、日頃
から防災訓練を実施して、災害時
に備えよう。みんなが資機材や備
蓄品の確認をしよう。

災害時

1 まずは情報収集！

テレビやラジオ、サイレンなどで
災害情報を取得し、素早く対応し
よう。

4 災害に応じた避難を！

土砂災害や津波など災害の種類
に応じて、適切な指定緊急避難場
所や指定避難所を覚えておこう。

2 自分と家族の
安全確保！

まずは自分や家族の身を守るこ
とが第一と考えよう。

5 助け合って避難！

一人で逃げるのが困難な高齢
者や乳幼児の避難を助けよう。

3 周囲の人に知らせる！

隣近所への声掛けを行い、災害を
知らせ合って避難しよう。

6 天候に応じた避難を！

吹雪などの天候に考慮した準備
をして避難しよう。

＜幌・群別地区＞ 地区防災マップの使い方

- 1 地区内の危険をチェックしよう。
(津波、洪水、土砂災害など)
- 2 自分の家をチェックしよう。
- 3 いつも通っている場所をチェックしよう。
(学校・職場・病院など)
- 4 近くの避難所をチェックしよう。
- 5 家やいつも通っている場所からの
避難ルートを書いてみよう。

※付録の材料を使って家族でマップを完成させよう！
※地区防災ガイドを詳しく見てみよう！



「いしほ」※ダウンロード画面では「ライブビュー」と表示されます。
スマホにインストールして使用するアプリです。
災害時の緊急情報や市からのお知らせをアプリ通
知で受けとれるほか、市の施設予約や各種サービ
スへ早くアクセスすることができ電子閲覧機能も
利用できます。